

茨建協

ニュース

IBAKENKYOU NEWS

2025.6 NO.671



茨城景観百選

保和苑の紫陽花 (水戸市)

保和苑は、二十三夜尊桂岸寺に隣接する庭園で、紫陽花の見所として知られています。元禄時代、徳川光圀公が寺の庭を愛されて「保和園」と名づけたのが始まりと言われています。初夏には約 100 種 6000 株の紫陽花が咲き誇り「水戸のあじさいまつり」が開かれます。

CONTENTS

- 令和 7 年度定時総会を開催
- 令和 7 年度の会長表彰等受賞者
- 各支部が定時総会を開催
- 県土木部の防災訓練に参加

経営基盤強化を後押し地域貢献

本会が令和7年度定時総会を開催

本会（石津健光会長）は5月26日、令和7年度定時総会を水戸市の茨城県建設技術研修センターで開催し、令和7年度の事業計画などが報告されました。令和7年度も会員企業の経営基盤の強化や県民の安全・安心の確保へ、各種講習会の開催や地域貢献活動、人材の確保・育成などに取り組めます。また、松山和規氏（元茨城県労働委員会事務局長）の専務理事就任と菊地和幸氏の常任理事就任が承認されました。

あいさつで石津会長は、設計労務単価が13年連続で引き上げとなるも公共投資の横ばい、資機材の価格高騰、人件費上昇の影響で実質投資額が減少し地域建設業の経営環境が厳しい環境に触れました。

また、全国各地で地震、豪雨、台風などの自然災害が発生し国土強靱化の重要性が再認識されているとともに、埼玉県八潮市の道路陥没、京都市の大規模な水道管破裂など老朽化していく社会インフラの維持更新の必要性を強調。八千代町の鳥インフルエンザ、茨城町や城里町の豚熱の防疫作業への協力に感謝しました。

そして「社会的使命を果たしていくためには、会員企業が適正な利潤を確保し、将来にわたり経営基盤の強化を図ることが不可欠。そのうえで、担い手の確保育成、DXの着実な推進、職場の熱中症対策への対応などを進



石津会長



石井顧問



星田顧問

めなければならない」と述べました。

最後に「専門工事業や建設関連団体と連携し、国土強靱化推進の中期経営計画の策定や十分な事業量の確保の働きかけ、さらには担い手3法の施行状況を把握し担い手確保のための働きかけや処遇改善などを一層深めていく必要がある。地方の建設業が置かれている課題について国、県、関係機関と積極的に意見交換を行いながら、事業活動を推進していく」と述べました。

協会顧問の石井邦一県議会議員は「地域の守り手としての役割はますます大きくなっていく。これからもご貢献をお願いしたい」



総会では令和7年度の事業計画などが報告されました

と期待を寄せました。

同じく顧問の星田弘司元県議会議員は「自然災害があるなかで、皆さまは現場の最前線でご尽力頂いている。これからも業界発展のために努力していきたい。ますますのご発展を」と祈念しました。

また、けんざか茂範後援会の奥村康博副代表が祝辞を述べました。

議事では令和6年度の事業報告や収支決算の承認、令和7年度の事業計画や収支予算報告が承認されました。令和7年度も経営基盤の強化や地域への貢献として、公共事業予算の安定的な確保・拡大への要望提言、各種セミナーや講習会の開催、災害時の応急対応、道路清掃活動、不法投棄防止パトロールなど

を推進します。

人材確保・育成および働き方改革では建設現場見学会や建設業インターンシップの実施、建設業親子見学会や建設フェスタの開催、就職応援サイト・企業ガイドブック等による情報発信を行います。毎月土曜日の一斉休工も実施します。常設4委員会、建設未来協議会、建女ひばり会の活動も積極的に推進します。

議案では役員補充について、理事に松山和規氏（元茨城県労働委員会事務局長）が就任することを承認。臨時理事会で松山和規氏の専務理事就任と菊地和幸氏の常任理事就任が承認されました。

長年の功績に感謝 会長表彰等受賞者（敬称略・順不同）

本会の令和7年度会長表彰等の表彰式が5月26日の総会前に行われました。全国建設業協会会長表彰、建設業福祉共済団理事長表彰の受賞者伝達も実施されました。長年にわたり業界の発展や建設業福祉共済事業に貢献した会員企業や代表者、従業員を称えるものです。おめでとうございます。

表彰式では石津会長が受賞者に表彰状を授与。「受賞の栄誉は、日ごろのご努力のたまものです。今後もより一層、技術の研さんに努められ、社業の発展はもとより地域社会の良きリーダーとして、他の模範となるようご活躍を」と祝辞。

受賞者を代表して瀬谷建設㈱の瀬谷實代表取締役は「会長からのご丁寧な祝辞は、身に余る光栄です。決意も新たに業務に精励し、業界発展のために微力ながら尽くす所存です。旧に倍するご指導を切にお願い申し上げます」と謝辞を献じました。

茨城県建設業協会会長表彰

（敬称略・順不同）

【第3条（特別功労）】

- ◆盛田弘明（㈱根本工務店専務取締役、水戸支部）
- ◆瀬谷實（瀬谷建設㈱代表取締役、太田支部）
- ◆生田目勝義（㈱生田目工務店代表取締役、太田支部）
- ◆橋本直行（橋本建設㈱代表取締役、常陸大宮支部）
- ◆飯塚仁（㈱亀山工務店代表取締役、常陸大宮支部）
- ◆石井広一（㈱石井工務店専務取締役、大子支部）
- ◆堀江健一（㈱秋山工務店常務取締役、高萩支部）
- ◆高山吉忠（㈱高山建設代表取締役、高萩支部）
- ◆小松崎裕敏（㈱ミドリヤ代表取締役、鉾田支部）
- ◆澤田秀夫（澤田建設㈱代表取締役、潮来支部）
- ◆城内浩和（㈱大平工業代表取締役、潮来支部）
- ◆櫻井俊一（櫻井建設工業㈱代表取締役、竜ヶ崎支部）
- ◆成島隆平（成島建設㈱代表取締役、土浦支部）
- ◆北條信行（北條工業㈱代表取締役、筑西支部）
- ◆端孝男（㈱端工務店代表取締役、常総支部）
- ◆諏訪延幸（㈱幸土代表取締役、境支部）

【第5条（会員の従業員）】

- ◆黒澤泰朗（菅原建設㈱、水戸支部）
- ◆柳橋一明（株木建設㈱、水戸支部）
- ◆武田彦衛（ネモト建設工業㈱、常陸大宮支部）
- ◆下重元弘（㈱椎名工務店、大子支部）
- ◆松橋忠義（大北産業㈱、高萩支部）
- ◆片岡実（㈱菱伸工営、土浦支部）
- ◆白田美代（㈱マルイ興業、筑西支部）
- ◆藤井浩行（㈱野口組、境支部）
- ◆野本武（加藤建設工業㈱、境支部）

全国建設業協会会長表彰

【第2条第3号】

- ◆瀬谷實（瀬谷建設㈱代表取締役、太田支部）

【第2条第4号】

- ◆盛田弘明（㈱根本工務店専務取締役、水戸支部）
- ◆橋本直行（橋本建設㈱代表取締役、常陸大宮支部）
- ◆石井広一（㈱石井工務店専務取締役、大子支部）
- ◆堀江健一（㈱秋山工務店常務取締役、高萩支部）
- ◆澤田秀夫（澤田建設㈱代表取締役、潮来支部）
- ◆端孝男（㈱端工務店代表取締役、常総支部）



業界の発展に貢献した功労者を表彰しました

【第4条第1号】

- ◆㈱生田目工務店（太田支部）
- ◆㈱亀山工務店（常陸大宮支部）
- ◆㈱ミドリヤ（鉾田支部）
- ◆㈱大平工業（潮来支部）
- ◆成島建設㈱（土浦支部）
- ◆北條工業㈱（筑西支部）
- ◆㈱幸土（境支部）

【第4条第3号】

- ◆櫻井建設工業㈱（竜ヶ崎支部）

【第4条第4号】

- ◆㈱高山建設（高萩支部）

【第5条】

- ◆黒澤泰朗（菅原建設㈱、水戸支部）
- ◆柳橋一明（株木建設㈱、水戸支部）
- ◆武田彦衛（ネモト建設工業㈱、常陸大宮支部）
- ◆下重元弘（㈱椎名工務店、大子支部）
- ◆松橋忠義（大北産業㈱、高萩支部）
- ◆片岡実（㈱菱伸工営、土浦支部）
- ◆白田美代（㈱マルイ興業、筑西支部）
- ◆藤井浩行（㈱野口組、境支部）
- ◆野本武（加藤建設工業㈱、境支部）

建設業福祉共済団理事長表彰

- ◆尾曾賢和（県建設業協会理事）
- ◆大坂勇（県建設業協会理事）
- ◆細田誠一（県建設業協会監事）

保険や融資事業を推進

県建設業協同組合が総代会



茨城県建設業協同組合（石津健光理事長）の令和7年度（第55期）通常総代会が5月26日に水戸市の県建設技術研修センターで開催され、事業計画などが承認されました。令和7年度も共済保険事業や融資事業を推進することで組合員の経営安定に貢献し、資金需要に応じていきます。石津理事長は「組合員の円滑な事業継続のため共済保険事業や融資事業に取り組んでまいりたい。引き続き、ご理解とご協力を」と述べました。

熱中症対策に重点

建災防県支部が総会



建設業労働災害防止協会茨城県支部（石津健光支部長）は、令和7年度定時総会を5月26日に水戸市の県建設技術研修センターで開催し、本年度の事業計画などを承認しました。令和7年度も熱中症予防などの安全衛生教育活動や安全パトロール、労働災害防止大会の開催などを行い、安全衛生への意識を一層向上させます。あいさつで石津支部長は「熱中症予防指導員管理者研修の出張講習を積極的に実施するほか、死亡災害ゼロ推進大会の開催など啓発事業、安全衛生教育、県下一斉安全パトロールなど労働災害防止と安全な職場づくりに取り組む」と述べました。

秋山部会長が続投

舗装部会の総会



秋山部会長

本会の舗装部会（秋山光伯部会長）は5月14日、令和7年度定時総会を水戸ドライブイン（水戸市）で開催し、令和7年度の事業計画などを報告・承認しました。役員選任では全員が続投となり、秋山部会長は「道路や港湾といった環境整備が県民所得全国3位の経済発展につながっている。今後も事業量を確保できるよう努力していく」とあいさつ。また「埼玉県八潮市で発生した道路陥没事故により、上下水道の老朽化対策が注目を集めている。舗装についてもパッチングにとどまらず、老朽管の更新とともに道路の再整備を求めている」と述べました。

業界の魅力向上を

建設未来協議会 総会



櫻井会長

本会の建設未来協議会（櫻井俊一会長）は5月16日、令和7年度第33回定時総会を水戸市のホテル・ザ・ウエストヒルズ水戸で開催。令和7年度の事業計画案など全5議案を承認しました。櫻井会長は「働き方改革など課題も多い。課題を解決することが若年層の担い手確保に繋がっていく。今回の総会を有意義なものにしたい」とあいさつしました。

女性活躍の広報活動推進

建女ひばり会 幹事会



柳瀬会長

本会の建女ひばり会（柳瀬香織会長）は5月9日、令和7年度幹事会を開催し、事業計画などを決定しました。事業計画では、女性活躍に関する広報活動のほか、現場見学会・視察の実施、女性活躍に関する勉強会・研修会等の開催、発注機関及び関連団体等との意見交換、会員交流会の開催を予定しております。8月上旬には「夏休み！ドボジョと橋をみてみよう♪」と題した現場見学を石岡市内で予定しております。

6支部が
定時総会

令和7年度事業計画を決定

本会の太田支部、常陸大宮支部、大子支部、竜ヶ崎支部、土浦支部、筑西支部の令和7年度の定時総会が5月に順次開催され、令和7年度の実業計画などを決定しました。（5月開催支部）

太田支部



梅原基弘 支部長

「永続する企業となり得るよう適正な利益確保と経営の基盤強化を図って頂きたい。そのために、これからも有益な支部運営を展開したい」

【令和7年度事業計画】

- ・安全大会、研修視察、研修会・講習会
- ・地域貢献活動、献血活動、懇談会
- ・グリーン会、未来協議会、支部長会など

竜ヶ崎支部



細谷武史 支部長

「国土強靱化の重要性が高まっており、地域の守り手としての責務は大きい。厳しい環境だが、持続的かつ安定的な経営環境の構築に尽力していく」

【令和7年度事業計画】

- ・担い手の確保やICT活用
- ・業界のイメージアップ
- ・女性活躍に向けた取り組みなど

常陸大宮支部



高野潔 支部長

「建設業の労働環境を整えていくため、関係諸機関・団体に働きかけたい。会員企業の皆さまの経営基盤がより強固になるよう努力したい」

【令和7年度事業計画】

- ・国や県の若手入職者増加施策へ協力
- ・事業量拡大確保と会員優先活用の要望
- ・建設業界のイメージアップ活動など

土浦支部



小林伸行 支部長

「これからはインフラ整備に携わる機会が増えてくる。また、熱中症対策の安全講習や防災訓練を実施する。ぜひ全員が参加してほしい」

【令和7年度事業計画】

- ・道の日清掃
- ・献血ボランティア活動
- ・熱中症対策の安全講習や防災訓練

大子支部



大藤博文 支部長

「われわれには地域の守り手としての役割がある。また、地域格差がある中でも事業量の確保を行政に働きかけながら事業を進めてまいりたい」

【令和7年度事業計画】

- ・安全パトロール、安全大会
- ・災害時における支援活動
- ・オオキンケイギク駆除活動など

筑西支部



白田唯雄 支部長

「担い手の確保や育成、働き方改革やDXを推進していく。発注機関との意見交換会などを通して熱中症対策や適切な工期の補正などを要望する」

【令和7年度事業計画】

- ・地域の守り手として災害対応
- ・担い手確保育成、働き方改革、DX推進
- ・発注機関との意見交換会など

県土木部の防災訓練に参加

パトロール実施

本会は、茨城県土木部が5月20日に実施した風水害対応机上訓練に参加しました。出水期を前に風水害発生時における災害対応能力の向上と市町村や関係団体との連携を確認するため毎年、茨城県が実施しているものです。

洪水対応中に震度6強の地震が発生したとの想定で、災害発生直後の被災情報の収集や応急対策の検討、指示など本番さながらに行われました。

茨城県土木部では県庁の土木部災害対策室と出先16事務所をオンラインでつなぎ、ドローンを使ってリアルタイムで被災状況の映像を共有。本会は被災現場の緊急パトロールのため出動しました。

本会は「地域の守り手」として、茨城県土木部と災害協定を締結しており、災害発生時には被災現場の確認と応急復旧活動に取り組むことになっています。

3県合同提案など協議

経営企画委員会



本会の経営企画委員会（沢畑正剛委員長）は5月21日、令和7年度の第1回委員会を水戸市の協会本部で開催し、北関東三県合同会議の提案議題や事業計画などについて話し合いました。菊地和幸副委員長は「北関東三県合同会議の提案議題を中心に皆さんからご意見をいただきたい。そのほかM&Aや資材高騰など、さまざまな課題にも向き合ってまいりたい」とあいさつしました。

S1型試行を各整備局に通知

国土省 技術提案評価型の入札

国土交通省は、新たな入札契約方式として導入する『技術提案評価型S1型』を試行するよう各地方整備局に対して通知しました。試行では、予定価格の5%の範囲内で品質向上などにつながる技術提案を求めます。

現行の技術提案評価型S型における技術提案は、コストも入札価格に含まれるため、新技術など費用を要する提案がしにくい状況。新たなS1型は、一定の範囲内で費用を計上することを前提として、仮設物・工法・目的物の軽微変更や新技術活用により、さらなる品質向上・安全性向上・環境改善などを図ります。

同省では令和7年度の試行工事で事例を蓄積・データ分析し、以降はフォローアップ調査を行います。品質・安全性・環境の向上への効果、事務手続き負担の軽減などを確認し、本格運用につなげる方針です。

なお同省では特に山岳トンネルにおける省人化施工をS1型の対象として視野に入れています。令和7年度はトンネル工事3件でのS1型試行が見込まれています。

国土省が7月に改定版公表

公共建築の工期設定基本的考え

国土交通省は『公共建築工事における工期設定の基本的考え方』を改定します。時間外労働上限規制の建設業への適用や週休2日制など働き方改革を踏まえ、平成30年作成の『考え方』を見直すものです。同省では7月ごろにホームページで公表する方針です。

主な改定内容（追加記載事項）として、基本方針に「時間外労働上限規制の建設業への適用を踏まえ、長時間労働是正や週休2日確保など働き方改革の推進に考慮する」と示しております。

また適正な工期を確保するための方策として、調査・設計段階、工事発注準備段階、施工段階で対応策が示されます。

適正な工期を確保するための留意事項では、考慮すべき自然的要因に「猛暑」を追加するほか、工期の変更について「資材・労務の需給環境の変化その他の事由により作業不能日が想定外に増加した場合」を加えます。

3支部
活動報告筑西・境・常総
ゴルフコンペ

筑西支部、境支部、常総支部の3支部ゴルフコンペが5月23日、坂東市の猿島カントリー倶楽部で開かれました。各支部上位5人の合計スコアで争われた団体戦は筑西チームが制し、同支部が個人、団体の2冠となりました。個人優勝は81ストローク（OUT 40、IN 41、NET 71.4）の柴直樹氏（筑西支部）。

優勝した筑西支部の白田唯雄支部長は「支部のみんなで良い時間が過ごせた」と述べ、準優勝となった新井孝境支部長は「3支部のコミュニケーションが図られ、親睦も深まった」。常総支部の中川原勇支部長は「天候に恵まれ楽しく過ごせた。このコンペでより一層団結できたと思う」と語りました。



3支部の参加者で記念撮影

個人優勝の柴氏は「天気とメンバーに恵まれ、楽しくゴルフができた。一緒に過ごした時間を大切にしたい」と話していました。

競技は、新ペリア方式（ダブルパーカット、ハンデ上限なし、同スコアは上年齢が上位）で行われ、ベスグロは79（OUT 41、IN 38、NET 73.0）の北島正進氏（筑西支部）。

太田支部
活動報告Webex使い
防災訓練

太田支部（梅原基弘支部長）は5月13日、県常陸太田工事事務所（栗原栄所長）とWebexを活用した道路の合同防災訓練を常陸太田合同庁舎で実施しました。梅原支部長は「いつ起こるか分からない自然災害には、日ごろの備えが大切。われわれ建設業は市民の暮らしを守る使命があることを意識して学んでもらいたい」と呼びかけ、参加者は活用方法や役割について理解を深めました。

会員の動向

〈新規入会〉

▽竜ヶ崎支部

（株）サカエ 代表者 皆見 博

住 所 〒300-1204 牛久市岡見町960-12

電 話 029-872-7297

▽常総支部

（有）菌部組 代表者 菌部 正博

住 所 〒304-0805 下妻市唐崎875

電 話 0296-43-5748

〈代表者変更〉

▽潮来支部

鎗木建設(株) 鎗木 保雄 → 鎗木 大輔

知ってほしい、より安心の制度

法定外労災
補償制度

建設共済保険

お問い合わせ 公益財団法人 建設業福祉共済団

フリーダイヤル 0120 - 913 - 931

URL : <https://www.kyousaidan.or.jp/>

掛金負担が軽減

手厚い補償

労働者と企業のリスクをカバー